

「公共工事コスト構造改革プログラム」

【施策名：(12)技術革新等により計画・設計を大胆に見直す

環境負荷の少ない自己処理型トイレの採用

工事名：平成19年度 湖畔ゾーン眺望施設工事

概要：最新の技術を積極的に採用し、効率的な事業を推進する

(従来) 下水道処理 → (新) バイオマスを利用した自己処理

効果：

- ①下水道施設の整備にかかる費用の縮減を図ることができる。
- ②微生物の働きにより、汚水を高度な循環濾過することから、環境への負荷が少ない。

(工事費：97百万から32百万 縮減額 65百万円 縮減率 67%)

バイオマストイレとは

し尿を微生物の働きで分解し、汚水を高度に循環濾過することで、無臭無色な水にし、再利用する循環式水洗トイレをいう

バイオマストイレの特徴

- 殆ど臭いが無い
- 給水・排水が不要
- 整備コストが安価

整備イメージ

